

「2020 学習成果アンケート」

本学では、入学時と卒業時に実施している「新入生学生生活アンケート」と「学生の生活及び学修行動調査」の共通項目のうち、ディプロマ・ポリシーに謳う本学の学習成果である「使命感」「総合的な子ども理解」「コミュニケーション・課題解決」と、「ICT 教育」「実技（ピアノ演奏・手遊び）」に関する項目を抽出し、「学習成果アンケート」として学習成果を把握している。令和元（2019）年 10 月に、三つのポリシーの一体的な策定を行ったことから、「学習成果アンケート」の質問項目を精査して新たな「学習成果アンケート」を作成した。

令和 2（2020）年度に入学した 1 年生は、学内情報ポータルサイト〔KCN（Keiai Campus Navigator）〕を活用し、スマートフォンを用いて「学習成果アンケート」に回答している。選択肢の「よくできている」「できている」を統合し「あてはまる」群、「あまりできていない」「できていない」を統合し「あてはまらない」群とした。表中の人数と％は、「あてはまる」群の数値を示す。

「使命感」の下位カテゴリーとして「社会的責任」「自己管理」「生涯学習（新設）」を設けている。「総合的な子ども理解」には「教育・保育に関する知識（新設）」「指導方法、保育技術・実技（新設）」を設け、初等教育コースと保育コース別に項目を設定している。「総合的な子ども理解」「ICT 活用」の項目については、1 年生に回答を求めるには高度すぎる項目もあるが、学習成果の評価を 3 回（入学時・進級時・卒業時）に渡り継続的に実施し、達成状況の推移を把握すること、あるいは、学生が自己評価する際に卒業までの達成目標として意識すること等をねらいとし、あえて実施している。「コミュニケーション・課題解決」は、これまでどおり「コミュニケーションスキル」「チームワーク」「リーダーシップ」「課題解決力」とした。

令和 2（2020）年度 1 年生の学習成果アンケート結果について、「使命感」と「コミュニケーション・課題解決」について述べる。入学時から「使命感」の「社会的責任」「自己管理」、及び「コミュニケーション・課題解決」の「コミュニケーションスキル」「チームワーク」は評価が高い。教育者・保育者を目指すという明確な意思と自覚を持っており、思いやりを持って他者と協同することができることと自己評価していることがわかる。一方で、「生涯学習」の項目である「読書をして幅広い知識や教養を得ている」「資格を意欲的に取得している」は保育コース、初等教育コースともに「あてはまる」群が 20～40％台と低い。読書推進活動については、現在、メディアセンター委員会や学生の図書係を中心にさまざまな試みを実施しており、年間来館者数を増やしている。

また、保育コースの学生において「コミュニケーション・課題解決」の「リーダーシップ」項目である「人前に立ち、皆の意見をまとめられる」や「課題解決力」の項目である「自己の考えを論理的にわかりやすく他者に伝えられる」が、ともに 30～40％台と低い。令和 2（2020）年度から、全授業科目において、学習成果の一つである「コミュニケーション・課題解決」と各授業科目の内容との関連についてルーブリックを作成して、シラバスに示し、より明確に評価できるようにしている。グ

ループ・ディスカッションにおいてグループの意見をまとめ発表したり、テーマに沿って自分の主張を論理的にまとめ他者にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行ったりする機会を増やし、教員がより具体的なフィードバックをしていくことで、「コミュニケーション・課題解決」の資質・能力育成を目指す。

アクティブ・ラーニングの推進についても、FD・SD研修において複数回取り上げる等、強化している。

学習成果アンケート〔令和2（2020）年度 1年生 保育コース 161人〕

項目内容		あてはまる			
		人数	%		
使命感	社会的責任	保育者を志す者としての自覚がある	140	86.9	
		保育に対する高い志や情熱を持っている	147	91.3	
		子どもの最善の利益を意識している	133	82.6	
	自己管理	場面に応じて身だしなみを整えられる	149	92.6	
		場面に応じた言葉遣いができる	142	88.2	
		健康管理ができる	145	90.1	
		提出期限や集合時刻などのルールを守る	142	88.2	
		指示されなくても自分で考えて行動できる	113	70.2	
		自己の行動を振り返り改善できる	134	83.2	
		計画性を持って行動できる	92	57.2	
	学習生涯	読書をして幅広い知識や教養を得ている	42	26.1	
		資格を意欲的に取得している（認定絵本土、認定ベビーシッターなど）	51	31.7	
自己の課題の解決に必要な能力やスキルを習得するように努めている		116	72.0		
総合的な子ども理解	保育に関する知識	子どもの年齢に応じた心身の発達段階について理解している	90	55.9	
		子どもを取り囲む環境を整えることの重要性について理解している	136	84.5	
		子どもが基本的な生活習慣を身につけることの重要性を理解している	144	89.5	
		保育に関するニュースや時事問題に関心をもっている	133	82.6	
		保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の内容を把握している	47	29.2	
		子どもの発達の連続性を意識し、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校との連携の重要性を理解している	90	55.9	
		発達障害等の特性の理解、及びそれらを援助する上での重要性を理解している	95	59.0	
	保育技術	子ども一人一人の性格や能力、興味・関心を理解しようとしている	147	91.3	
		一人一人の子どもを見ながら常に全体にも目を配ることができる	101	62.7	
		子どもにわかりやすいような話し方ができる	121	75.2	
		子どもの表情などから感情をとらえ、子どもの気持ちを大切に援助ができる	118	73.3	
		子どもがルールを守れるような援助ができる	106	65.9	
		子どもの気持ちを汲んでけんか等に対応できる	78	48.5	
		子どもの興味・関心を踏まえた遊びを考えられる	90	55.9	
		子どもが手遊び等を楽しめるような援助ができる	84	52.1	
	保育実技	ピアノなどの楽器を使い、子どもが楽しんで歌えるような援助ができる	57	35.4	
		子どもの発達に即した良質の絵本を選べる	69	42.9	
		子どもが楽しめるような絵本の読み聞かせができる	60	37.3	
		子どものやってみたいという気持ちを大切に制作活動の援助ができる	93	57.7	
		子どもが楽しんで運動遊びが行えるような援助ができる	96	59.7	
		自ら進んで明るく挨拶ができる	149	92.5	
		他者の意見を受け入れられる	154	96.0	
	コミュニケーション・課題解決	コミュニケーションスキル	他者の立場に立って物事を考えられる	145	90.1
			他者と良好な人間関係を築くことができる	150	93.1
組織や集団の一員として自己の役割を果たすなど、自覚を持って行動できる			150	93.2	
報告・連絡・相談ができる			147	91.3	
リーダーシップ		目的の達成のために積極的に意見を出せる	106	65.9	
		人前に立ち、皆の意見をまとめられる	63	39.2	
		広い視野をもち、臨機応変に対応できる	106	65.9	
課題解決力		反省や経験を生かせる	138	85.7	
		物事の問題点や課題を見つけられる	128	79.5	
		自己の考えを論理的にわかりやすく他者に伝えられる	72	44.8	
		多様な意見を統合してアイデアを生み出せる	85	52.8	
ICT活用		Word を使える	71	44.1	
	Excel を使える	49	30.4		
	PowerPoint を使える	64	39.8		
	SNSなどをモラルに則って効果的に活用できる	143	88.8		
	「情報リテラシー」の意味を理解している	79	49.1		
	パソコンや映像機器を活用したプレゼンテーションができる	43	26.7		

学習成果アンケート〔令和2（2020）年度 1年生 初等教育コース13人〕

項目内容		あてはまる		
		人数	%	
使命感	社会的責任	教育者を志す者としての自覚がある	13	100
		教育に対する高い志や情熱を持っている	12	92.3
		子どもの最善の利益を意識している	12	92.4
	自己管理	場面に応じて身だしなみを整えられる	13	100
		場面に応じた言葉遣いができる	12	92.3
		健康管理ができる	12	92.4
		提出期限や集合時刻などのルールを守る	11	84.6
		指示されなくても自分で考えて行動できる	11	84.6
		自己の行動を振り返り改善できる	12	92.3
	学習・進生	計画性を持って行動できる	8	61.6
読書をして幅広い知識や教養を得ている		5	38.5	
資格を意欲的に取得している（学校図書館司書教諭など）		6	46.2	
総合的な子ども理解	教育に関する知識	自己の課題の解決に必要な能力やスキルを習得するように努めている	8	61.5
		児童の学年に応じた能力の発達段階について理解している	1	7.7
		学校生活における児童の行動について基本的な生活習慣等、指導すべき内容について理解している	2	15.4
		教育に関するニュースや時事問題に関心をもっている	10	76.9
		学習指導要領の内容を把握している	2	15.4
		児童の発達の連続性を意識し、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校との連携の重要性を理解している	6	46.2
		各学年の各教科等の指導法と内容についての概略を理解している	0	0
		主体的・対話的で深い学びについて理解している	5	38.5
		規律があり、かつ受容的な学級集団作りを進めることの重要性と基本的な指導方法を理解している	3	23.1
		発達障害等の特性の理解、及びそれらの生徒指導上の重要性を理解している	4	30.8
		児童一人一人の性格や能力、興味・関心を理解しようとしている	10	76.9
	方法指導	生徒指導における個別指導と集団指導のかかわりとそれぞれの指導方法を理解している	3	23.1
		児童の学年に応じた話し方ができる	7	53.8
		トラブル等があった場合、児童の気持ちを共感的に理解したうえで指導できる	4	30.8
		児童の理解の仕方と教材の本質をふまえた教材研究ができる	2	15.4
		学習指導において、児童の興味・関心を踏まえた導入を考えることができる	2	15.4
		板書の仕方や児童とのコミュニケーションの在り方等の基本的な事柄を押さえて授業ができる	2	15.4
		発言の仕方など授業のルールを大切に授業を進めることができる	4	30.8
		自ら進んで明るく挨拶ができる	12	92.3
コミュニケーション・課題解決	コミュニケーションスキル	他者の意見を受け入れられる	13	100
		他者の立場に立って物事を考えられる	13	100
		他者と良好な人間関係を築くことができる	13	100
		組織や集団の一員として自己の役割を果たすなど、自覚を持って行動できる	13	100
	リーダーシップ	報告・連絡・相談ができる	13	100
		目的の達成のために積極的に意見を出せる	7	53.9
	課題解決力	人前に立ち、皆の意見をまとめられる	7	53.9
		広い視野をもち、臨機応変に対応できる	11	84.7
		反省や経験を生かせる	13	100
		物事の問題点や課題を見つけられる	11	84.6
ICT活用	自己の考えを論理的にわかりやすく他者に伝えられる	9	69.2	
	多様な意見を統合してアイデアを生み出せる	8	61.5	
	Word を使える	8	61.6	
	Excel を使える	5	38.5	
	PowerPoint を使える	6	46.2	
	SNSなどをモラルに則って効果的に活用できる	11	84.7	
	「情報リテラシー」の意味を理解している	8	61.6	
	パソコンや映像機器を活用したプレゼンテーションができる	5	38.5	
児童がSNSをモラルに則って利用できるよう指導することの重要性について理解している	7	53.9		
Scratch等の子ども向けプログラミングソフトを使える	1	7.7		